

# 「私達が活動を続ける目的は…？ 地域の価値を高め、都会から人を持続的に集める仕組みを作ること」

(仕組みとは=起業し易い環境を作り、店舗を増やし、その店舗に集客して頂く事)

■人口減少や高齢化を克服した例は全国でもほとんど聞かない、それだけ難しい課題なのでしょう。この困難な課題に挑戦を続けて12年目を迎えます。決して一過性ではない1年を通じ365日持続可能な仕組みづくりに拘った活動、我々は貴重な時間を構想・目標実現に注ぎ「鹿野へ行ってみたい」「関わってみたい」「住んでみたい」他地域には無い絶対的な魅力的な町づくり、それが「木漏れ日計画」と言う一貫した活動です。

地域に眠る資源(人・自然・鹿野IC・空家・廃校)を掘起こし、新たな価値を生出す簡単そうで民間レベルでは大変困難な挑戦。狙いは広島や福岡を意識した癒し非日常を求める層の受皿となれる町づくりです、これら幅広い活動を通じ共に多くの皆さんの協力、その活動に共感頂いた全国からの経済的支援、それらの思いに報いるには必ず結果を出すことだと強く考えています。

■只 私達もいつまでボランティアを行えるか分かりません、我々活動のゴールは持続可能な仕組みの実現です  
**「1年を通じ人が集まる、集まれば地域は必ず変わる、それが我々活動の最終ゴールです…！」**

## 1, 雑木を街中に植える

雑木には人を魅了する不思議な力があります、この力を借りて街中に木漏れ日のイメージを演出し発信する目的で進めています。

開始-2013年~

活動-毎年数十本植栽

効果-累計植栽数-34ヶ所 98本



## 2, 山野草のエキ保護活動

伊藤芳高さんが17年の歳月を掛けられ、28000㎡の森に350種の貴重な山野草の花が咲く生きた図鑑の森を一人で築かれ、我々が引継ぎ地域の自然豊かなシンボルとして保存維持に努めています。

開始-2014年~

活動-月2回の活動/毎回17人前後参加

効果-入場者数一年/10000人前後



## 3, 木製ベンチの複数設置事業

ベンチは人を和ませます、このベンチを街中の木漏れ日の下に置き、雑木植栽と共に鹿野のイメージアップと統一感を示す為に進めています。

開始-2018年~

累計-45脚

効果-それぞれの活動が相乗効果を示し始める



## 4, 里山オープンガーデン

全国でも例の少ない、原種の花である山野草をメインにした里山らしいオープンガーデンの開催、山間部の魅力を最大限に引出し発信、鹿野の魅力が広く伝え多くの人々を集客し鹿野のファン作りを進めています。

開始-2019年~ 第4回目開催を迎える

活動-4~5月・2ヶ月間 25前後の庭が参加

効果-開催期間の来訪者数-約10000人



## 5, 木漏れ日コンサート

他地域との差別化を図り、圧倒的な唯一無二の価値を高める為に、音楽の力を借り垣根の無い野外コンサートの里を目指しています。

開始-2018年~

活動-現オープンガーデン期間中・8組×14回開催

効果-鹿野を野外コンサートの聖地を目指す



## 6, わくわくガーデン

山間部のコミュニティは人口減と高齢化で崩壊寸前です。そこで全く新しいコミュニティの場として、夢のガーデンや蔵のリノベーションを通じて不特定多数の人々が集う場作りを進めています。

開始-2022年3月~ 毎月第1月活動

効果-狙い通りに地元を始め徐々に活動に関心を示して頂き、輪が広がっています。



## 7, 旧大潮小学校を未来の常設店舗を目指し活性化の拠点

過去に新藤兼人監督の映画撮影にも使われ貴重な建物ですが、その後は有効活用されず、この宝を活かそうと「隠れ家マルシェ」を切っ掛けに、毎回千人前後も人を集める地域の起爆剤に成ろうとしています。

開始-2023年4月16日

狙い-**安定した集客と近い将来、旧校舎を複数の常設店舗を目指し、更に鹿野で小さな店舗の起業家を育てる学**の場所として、地域の皆さんと共に計画を進める



**1年365日持続的に人を呼べば地域は必ず変わります。その鍵はカフェ等の店舗を増やす事**  
(経済が伴わなければ一過性で終わってしまい、根本的な解決には繋がらない…?)

鹿野の未来を希望に変える最後かもしれないチャンスが目の前にあります、真剣に皆さんで考えてみましょう！

全国的にイベント等により一時的に人を呼ぶ事は可能ですが1年を通じ呼ぶ事は大変困難？…困難だからこそ挑戦していきましょう！